

2025年3月期 決算説明会

2025年5月20日
株式会社日本ケアサプライ
東証スタンダード 2393

1 決算ハイライト(2025年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

1 決算ハイライト(2025年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

中期経営計画の最終年度として
引続き、福祉用具サービスの更なる強化
高齢者生活支援サービスは、社会課題への対応を推進

■福祉用具サービス

- ・レンタル資産の積極的な投入を継続
- ・拠点展開では、都市部を中心に新規開設3拠点や既存拠点の大型化5拠点を推進

■高齢者生活支援サービス

- ・「バランス弁当」は、商品ラインアップ拡充、物流センターを新設
- ・フィッティング付きおむつ配送「おむピタ」は、拡販の推進体制を強化

■その他

- ・当社のありたい姿や持続可能な成長の方向性を定めた長期ビジョン「けあさぽVISION2040」を公表
- ・人的資本投資の強化や女性活躍に向けたアクションプランを策定

2025年3月期の決算ハイライト(前期比)

福祉用具サービスが堅調に推移し、前期比は増収増益

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	28,592	32,006	3,414	+11.9%
営業利益	2,173	2,459	286	+13.2%
経常利益	2,200	2,485	285	+13.0%
純利益※1	1,578	1,792	214	+13.6%
EBITDA※2	8,362	9,450	1,088	+13.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 経常利益+支払利息+減価償却費

2025年3月期末の決算ハイライト(業績予想比)



(百万円)			
	2025年3月期 業績予想※1	2025年3月期 実績	達成率
売上高	31,500	32,006	101.6%
営業利益	2,500	2,459	98.4%
経常利益	2,500	2,485	99.4%
純利益※2	1,800	1,792	99.6%
1株当たり 当期純利益(円)	115.85	115.35	—

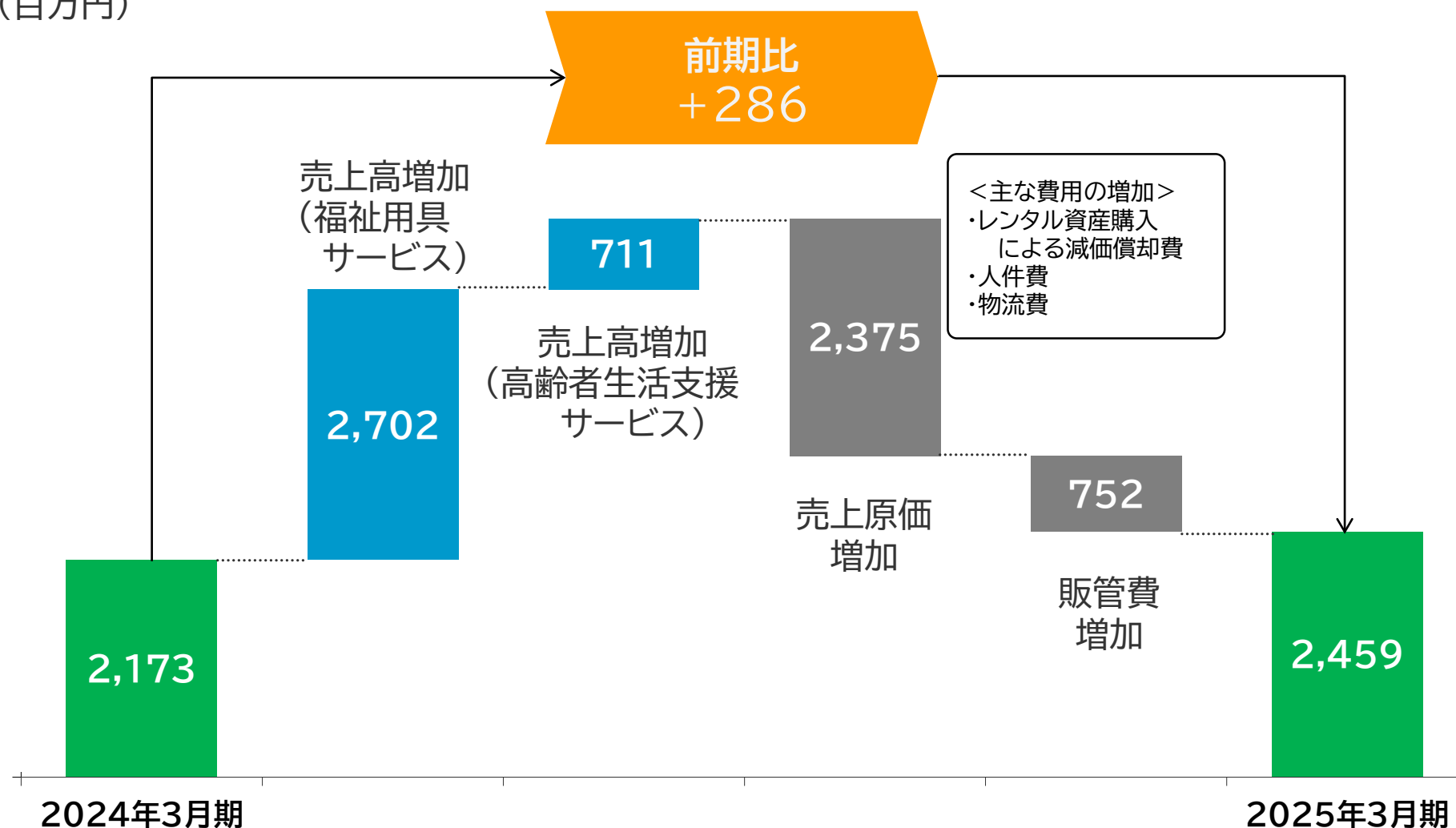
※1 2024年5月8日発表

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益の増減要因(前期比)

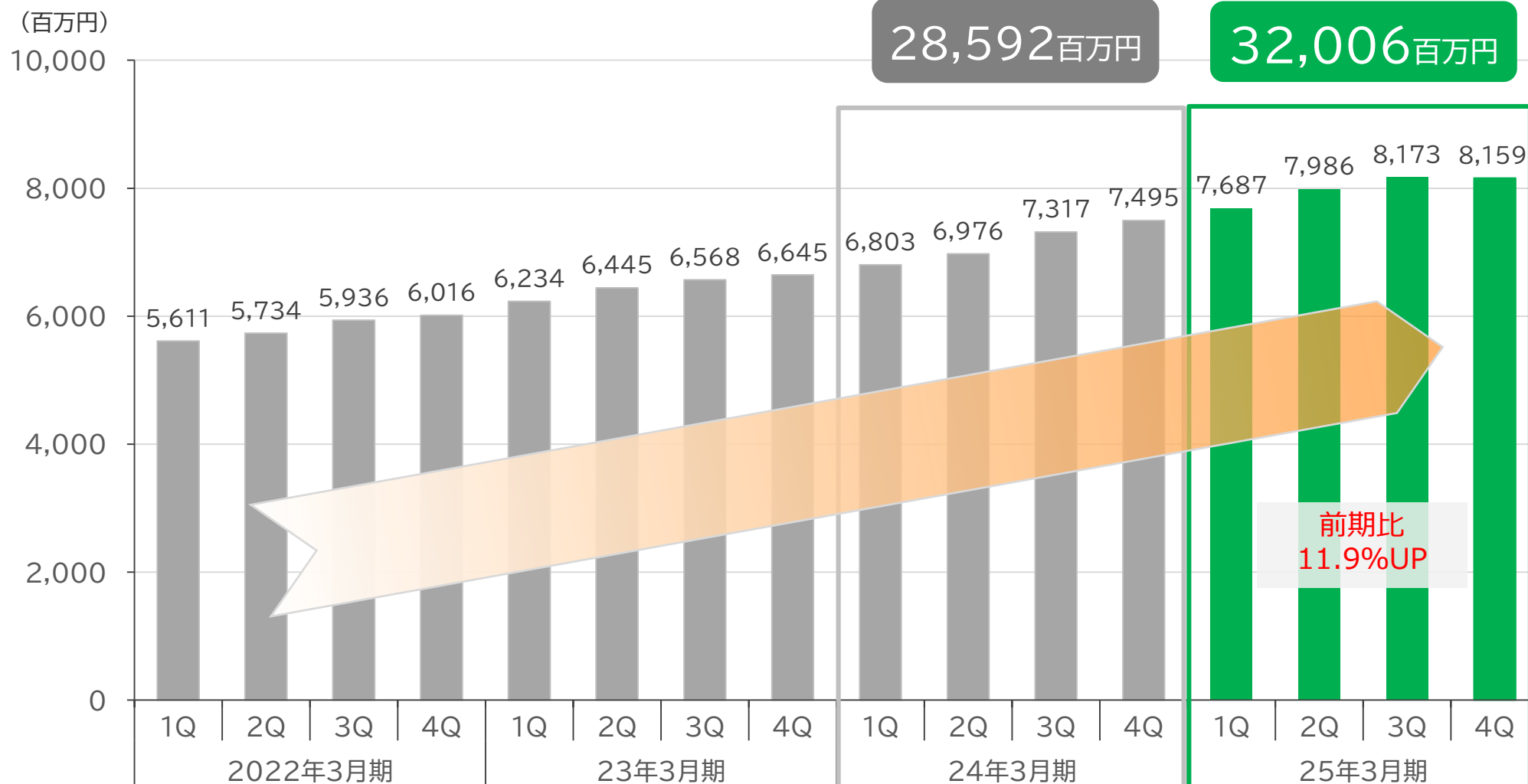
増収効果により増益

(百万円)



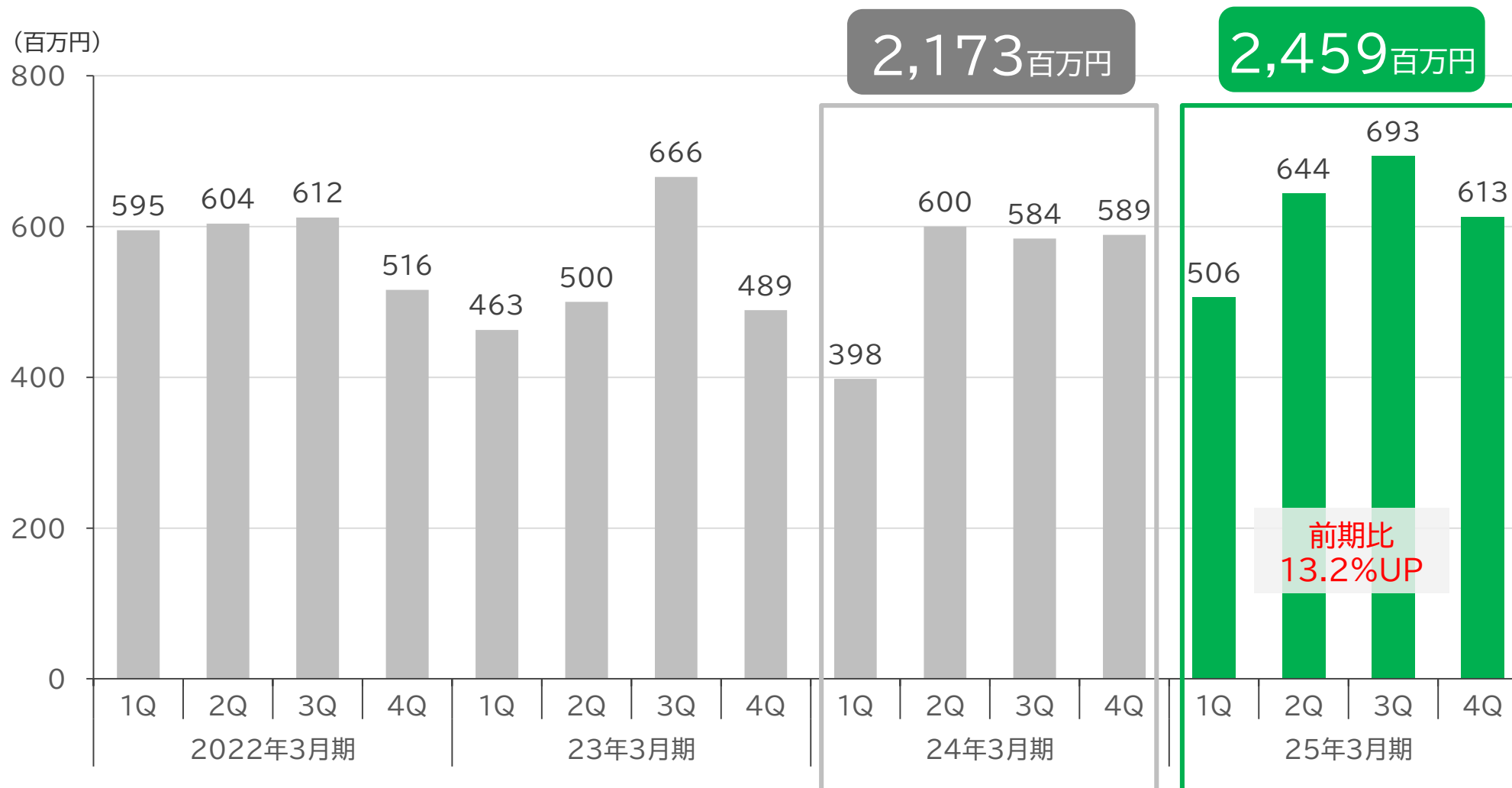
連結売上高の推移(四半期)

売上高は10年連続で過去最高を更新



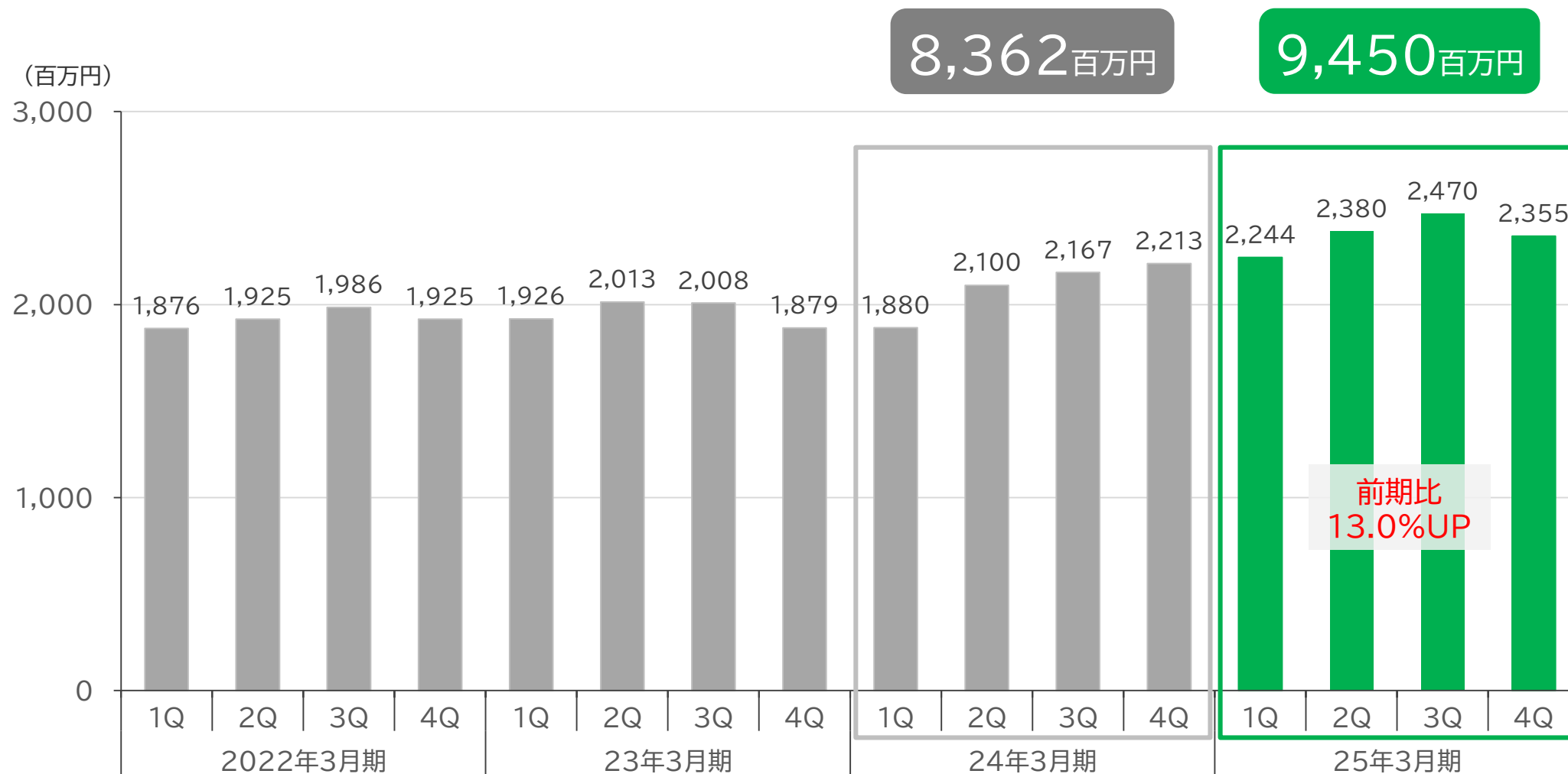
連結営業利益の推移(四半期)

継続して安定した利益を確保



EBITDA※の推移

EBITDAの推移は着実に向上



※経常利益＋支払利息＋減価償却費

連結貸借対照表(前期末比)

資産では、主にレンタル資産や拠点開発への投資が増加
負債では、主に短期借入金が増加

(百万円)

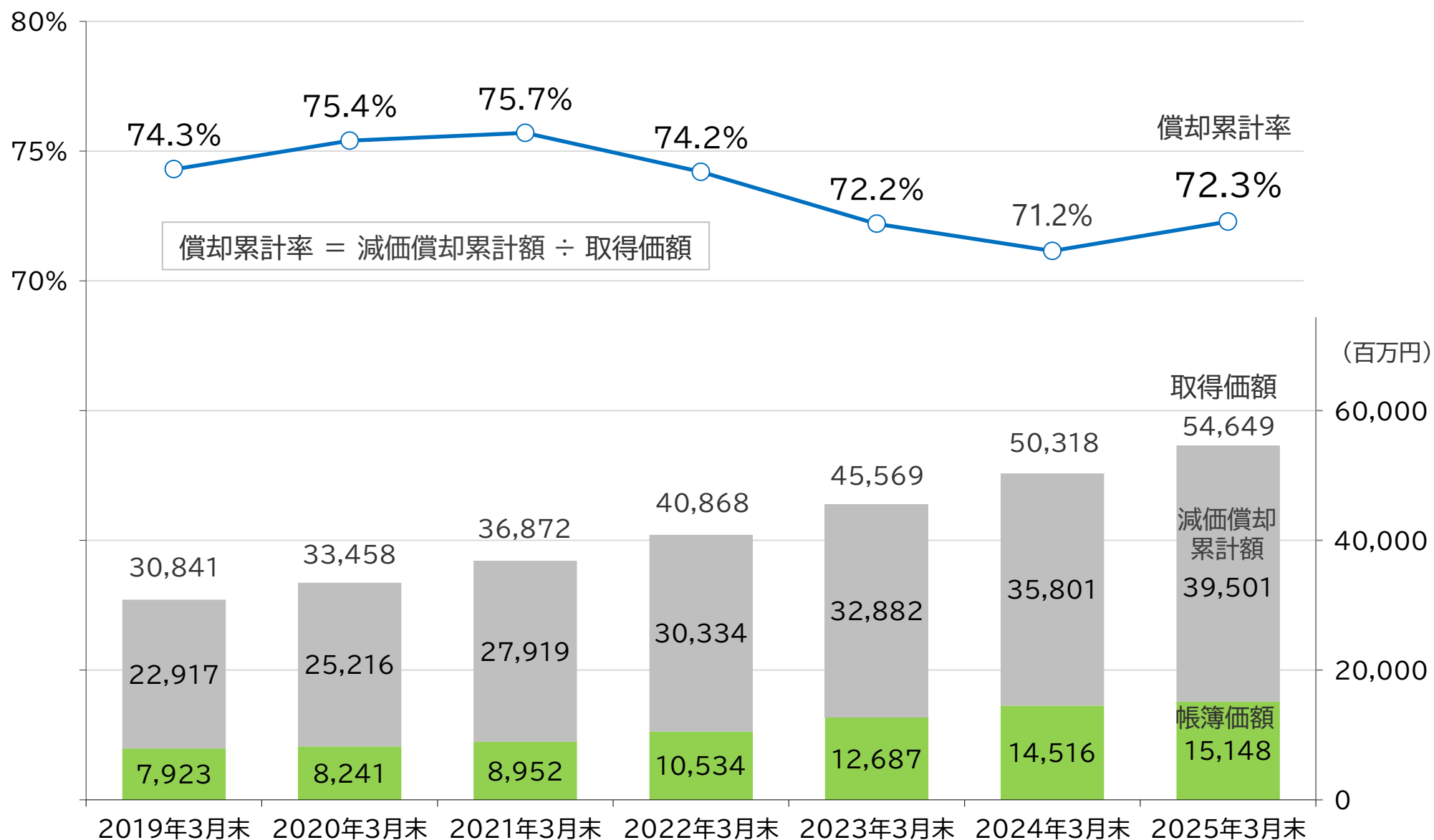
	2024年3月 期末	2025年3月 期末	増減額
流動資産	5,760	5,790	29
固定資産	19,641	20,922	1,281
(うちレンタル資産)	14,516	15,148	631
資産合計	25,401	26,712	1,311
負債合計	8,853	9,194	340
純資産合計	16,547	17,518	971
負債純資産合計	25,401	26,712	1,311

連結キャッシュ・フロー(前期比)

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	1,491	711	▲780
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	1,389	1,050
(うち減価償却費)	6,158	6,951	793
(うちレンタル資産の取得による支出)	▲7,437	▲7,540	▲103
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲775	▲1,170	▲394
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲343	▲189	153
現金及び現金同等物の期末残高	711	740	28

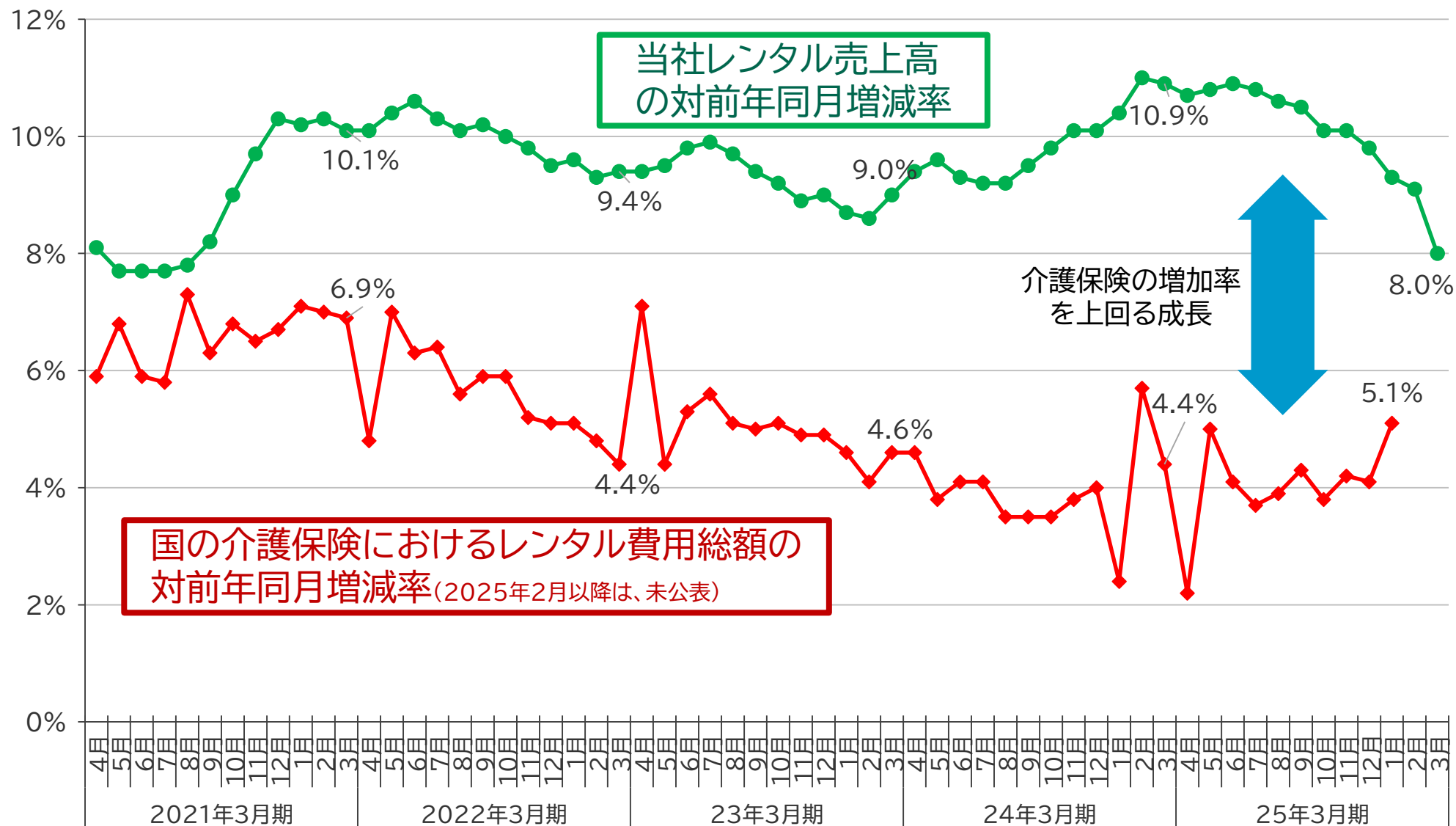
レンタル資産の保有状況の推移



1 決算ハイライト(2025年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

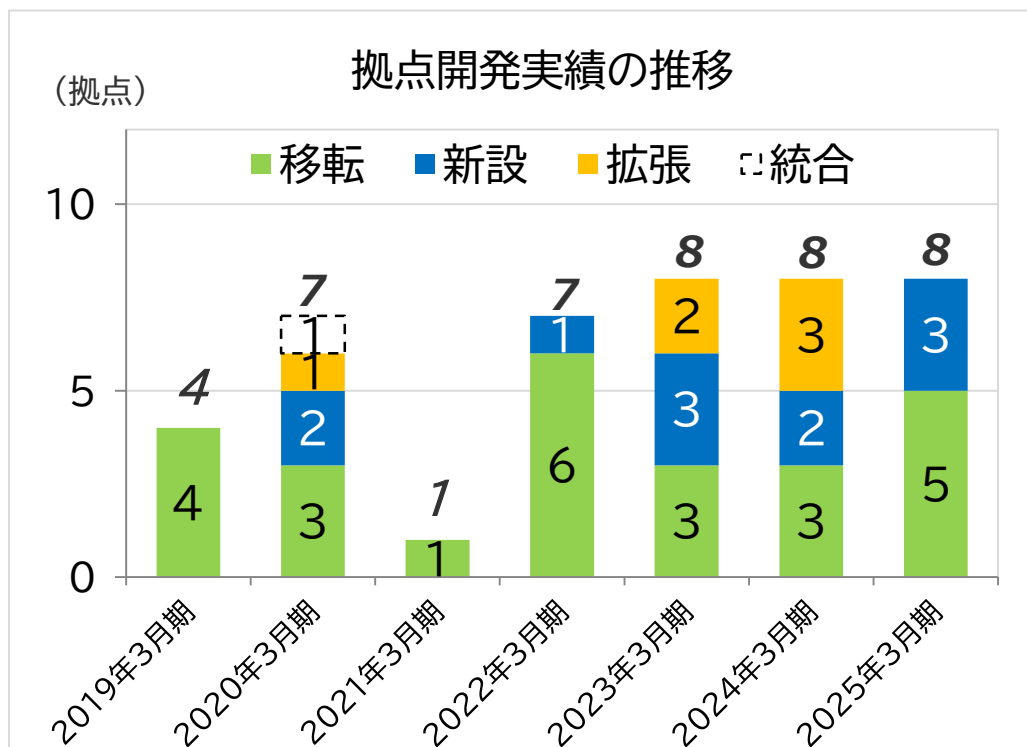
介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



出所：(公)国民健康保険中央会資料より当社作成

都市部を中心に営業拠点の拡充を継続

新規開設による 都市部の需要増加に対応



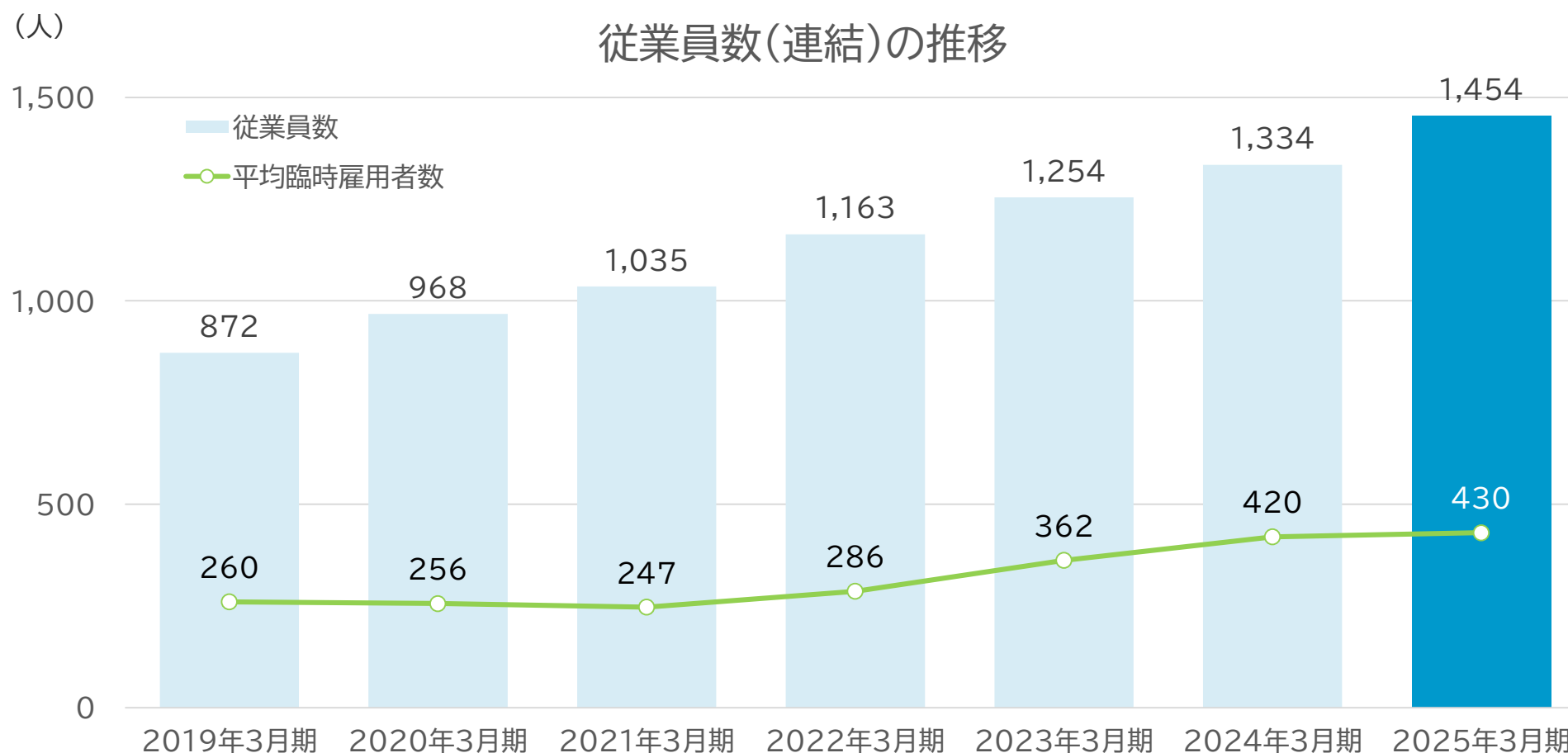
拠点大型化(移転・拡張) による倉庫作業の効率化

【2025年3月期の拠点開発】

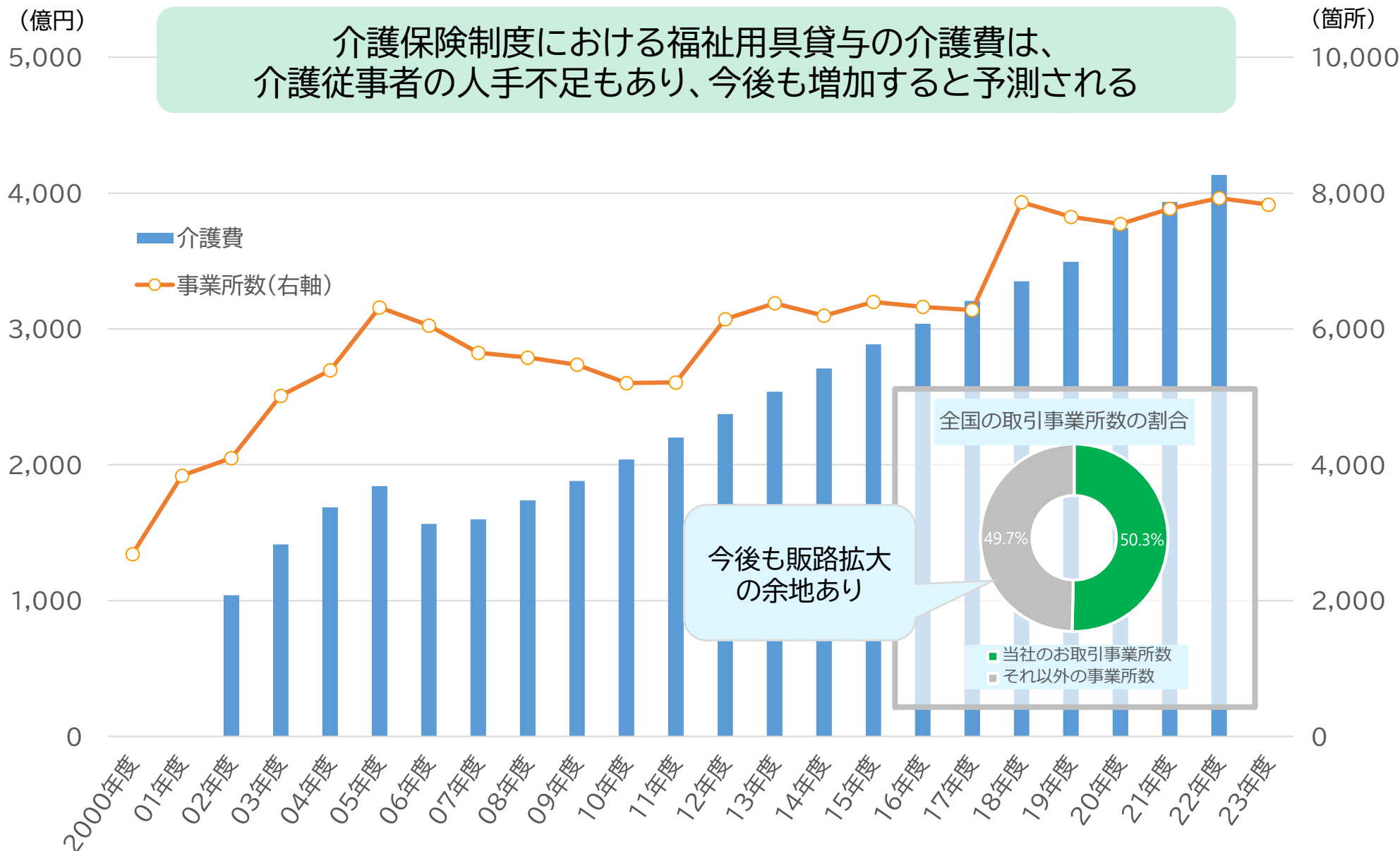
2024年	4月	栃木営業所	移転
	7月	川口営業所	新設
	7月	北見ステーション	移転
	7月	新潟営業所	移転
	10月	酒田ステーション	新設
	11月	横浜中央ステーション*	移転
	11月	大阪北摂営業所	新設
2025年	2月	立川営業所	移転

*移転後に新横浜営業所に名称変更
2025年3月末時点の営業拠点数 97か所

営業拠点人員の採用や人材育成の強化を推進



福祉用具貸与の介護費・事業所数の推移



厚生労働省HP「介護保険制度における福祉用具貸与について」より

中期経営計画(2022～24年度)の振り返り

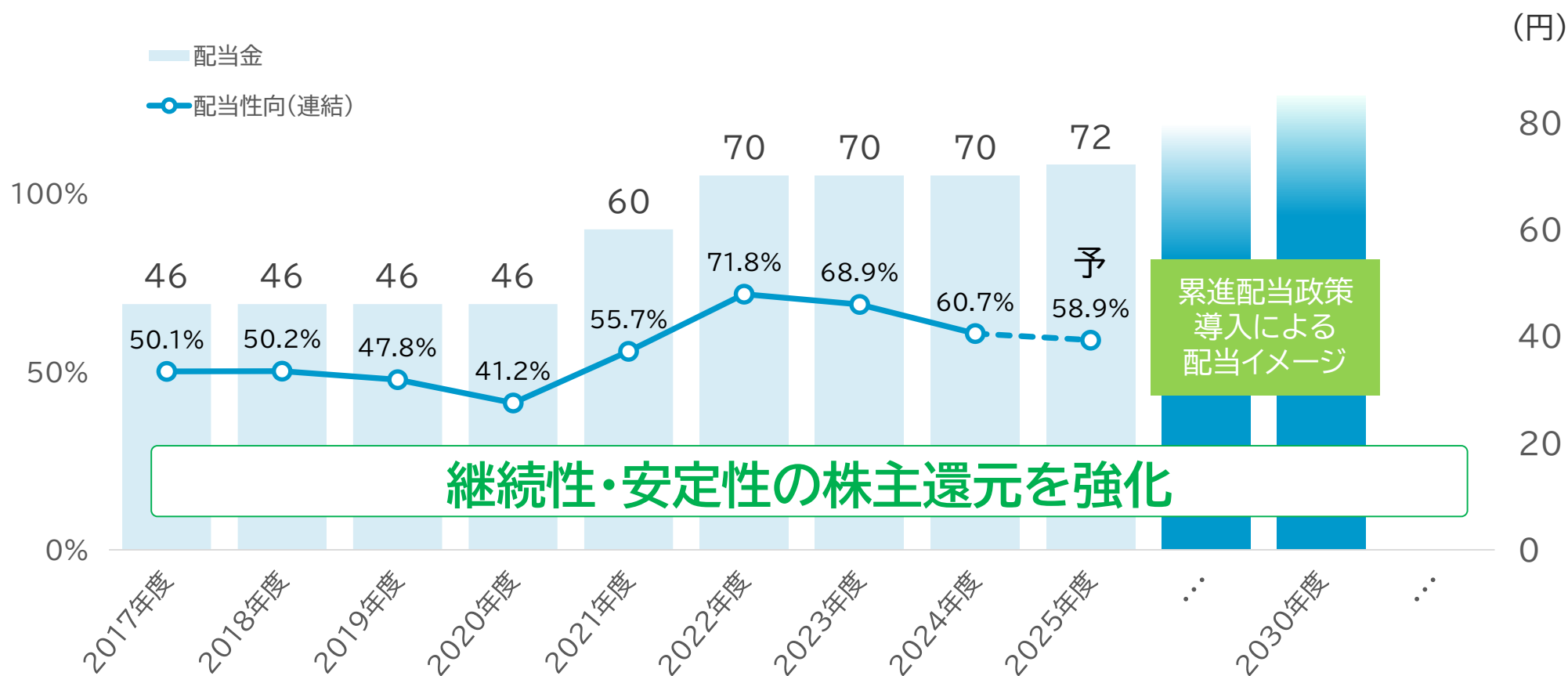
福祉用具	・福祉用具貸与市場の前年比成長率3年間の平均約4%に対し、当社の売上高は約10%を達成 ・営業拠点の新設・移転は、3年間で新設8拠点・移転11拠点を実施 ・資本業務提携先のALSOKと相互の拠点網と顧客基盤を活用した施設向け大型案件など売上に貢献。今後も成功事例の横展開を図り、更に取引拡大を目指す ・介護事業者の介護サービスの質向上と業務効率化にセミナーや法定研修などを受講できるグリーンケアフォーラムプレミアムを事業化
生活支援 高齢者	・バランス弁当(冷凍弁当)では、介護施設による調理現場の人手不足対策として、需要を取り込み、売上高は、3年間で每期二桁の成長率を達成 ・フィッティング付きおむつ配送サービス「おむピタ」拡販を強化し、事業化を推進
その他	・女性活躍に向けたアクションプランを策定し活動を開始 ・営業拠点メンテナンス工程にITツールを導入し、品質面や稼働率の向上に寄与 ・人的資本投資では、積極的な人材採用、教育研修を充実、株式付与ESOP信託の導入など待遇面の改善を推進



株主還元方針

長期ビジョン(2025年2月3日公表)にて、2030年度に向けた財務戦略において、累進配当制を導入および、DOE(株主資本配当率)6%を下限とする目標を設定。

なお、従来の株主還元方針としては、株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付けており、業績に対応した配当を行うこと。また、業容拡大を図るため設備投資を積極的に行うなど事業基盤を強化する観点から、内部留保を充実させることも併せて勘案したうえで、配当を決定しておりました。



外部環境の認識

高齢者人口増、労働者人口の減少

医療・介護費の増加

団塊世代ジュニアの高齢化

都市部と地方との格差が拡大

独居(特に男性)世帯の増加

中国などアジア地域の高齢化進展



ニーズの多様化

自立した生活を望む高齢者の増加

地域の実情に合わせた介護保険外サービスの創出

医療・介護の予防意識向上、生活習慣の改善

SDGsの次は、SWGs



テクノロジーの発展

デジタル技術の進歩

技術革新が産業構造に影響

脱炭素社会の実現による生活環境の変化

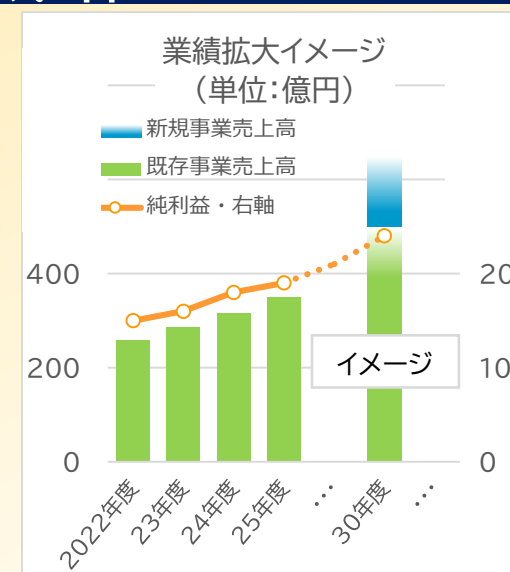
2030年に向けたキャッシュ・アロケーションと財務戦略

キャッシュ・アロケーション

キャッシュイン	キャッシュアウト
EBITDA	株主還元
	成長投資 既存事業
資金調達	新規事業 (M&A等)
	人的投資

財務戦略

業績拡大	売上高のオーガニック成長6%以上 当期純利益はCAGR5%
M&A	業界水平統合、高齢者支援サービス事業の基盤整備
資本コスト水準	エクイティスプレッド5%以上
配当政策	累進配当制導入、DOE6%を加減
財務レバレッジ	借入金を活用
PBR/PER	分析と改善策への取組み



サステナビリティへの取り組み（2030年度目標）

当社は、従来の資源を有効活用する循環型ビジネスである福祉用レンタルビジネスの推進に加え、以下の「サステナビリティに関する基本方針」に基づき、重点課題を継続的に取り組みます。

～サステナビリティに関する基本方針～

私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。

そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

重点課題	目標*
Environment 環境	・GHG排出量：政府目標に準じて半減 ・売上高エネルギー使用量比率(kl/億円) ・売上高廃棄物総量比率(t/億円)       ：省エネ法の努力義務及び目標に準じて、毎年1%程度削減
Social 社会	・重大労働災害件数：0件 ・人材開発投資額(外注費用)：倍増(28千円/人) ・有給休暇取得率：70% ・育休取得率、復帰率：100%         
Governance 企業統治	・コンプライアンス違反件数：0件 ・情報セキュリティ事故件数：0件 ・個人情報漏洩件数：0件 

※目標値は、2022年度+αを基準に2030年度目標を表示しております。新たな目標値策定の際は、内容を更新します。

2026年3月期 連結業績予想



持続可能な成長と中長期的な企業価値向上を目指す

(百万円)

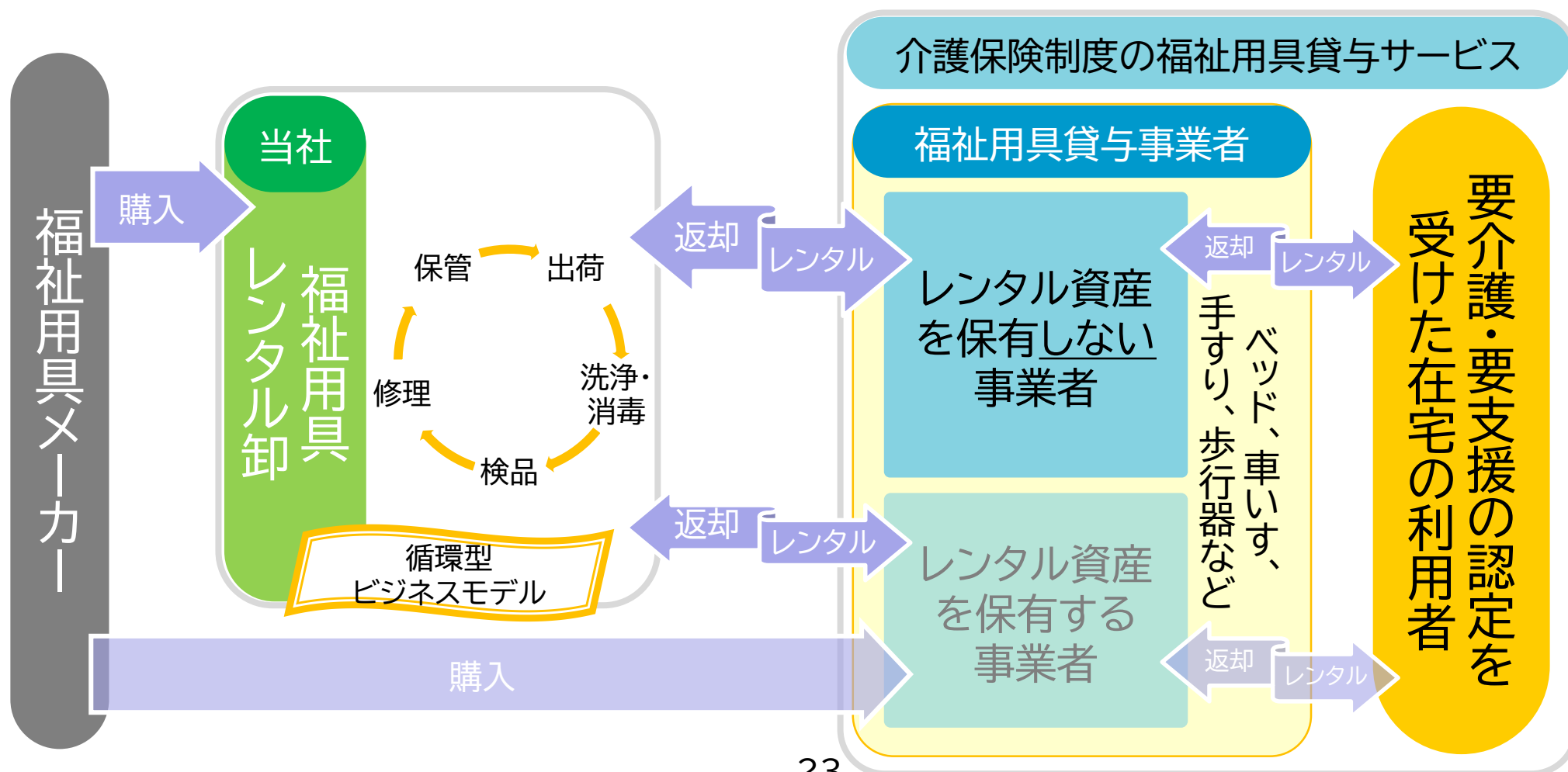
	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想※2	前期比	
			増減額	増減率
売上高	32,006	34,500	2,493	+7.8%
営業利益	2,459	2,650	190	+7.8%
経常利益	2,485	2,650	164	+6.6%
純利益※1	1,792	1,900	107	+6.0%
1株当たり 当期純利益(円)	115.35	122.28	6.93	—
DOE (株主資本配当率)	6.4%	6.4%	—	—

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

<参考> 循環型のビジネスモデル (福祉用具レンタル卸)

当社が手掛ける福祉用具レンタル卸事業は、介護保険の対象となるベッド、車いす等の福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」(以下、事業者)にレンタルし、さらに「事業者」が自宅で暮らす「利用者」に貸出します。使用後返却された福祉用具は、当社が洗浄・消毒、検品・修理して、再び「事業者」に貸出するリサイクルシステムです。資源を有効利用する循環型のビジネスモデルであり、当社が先駆けとなってこの仕組みを確立しました。



<参考> 介護保険対象の福祉用具



介護保険で レンタルできる 福祉用具13種目

2024年4月からレンタル対象の福祉用具のうち3種目(スロープ・歩行器・歩行補助杖の一部)でレンタル・購入の選択制を導入

介護保険で 購入できる 福祉用具6種目



▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

<参考> 介護事業者支援セミナーの強化

介護サービスの質の向上、効率化をお手伝いするWEBサイト
「グリーンケア フォーラム プレミアム」を提供

point
1

介護サービス
事業者向け

法定研修

高齢者虐待、身体拘束、認知症対応を含む、
運営基準で実施が義務化されているすべてを網羅！

※居宅介護支援の更新研修は含んでおりません。

point
2

オンデマンドスキルアップセミナー

運営指導対策・医療 DX・カスタマーハラスメント対策 etc...
最新情報が100本以上！

point
3

業務効率化 支援ツール

年間研修計画作成支援、状態像マトリクスツール、
受講証明、実施チェックリスト etc...
業務効率アップに役立つツールが満載！
設置された委員会をご支援いたします！

グリーンケア フォーラム
プレミアムプラン開始！！
介護サービスの**質向上**と**効率化**をお手伝いします！



GREEN
CARE
FORUM

病院・介護施設の食事提供の場面で業務を大幅に省力化
味と食べやすさでご利用者に笑顔をお届け

商品ラインアップの拡充
全160種以上(2024年6月現在)

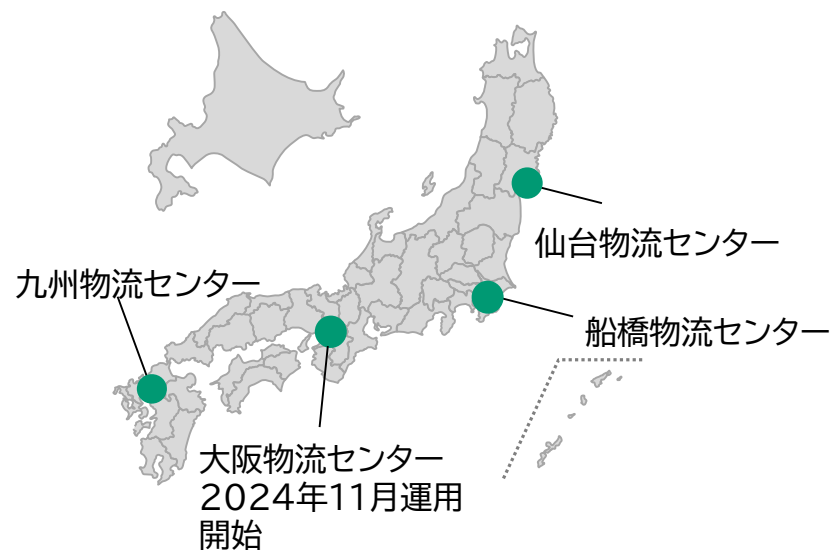
事業拡大を見据えた物流倉庫の
設置により配送コストを削減



▲メニューの一例
「ひれかつ&オムレツ」



▲「バランス弁当」カタログ



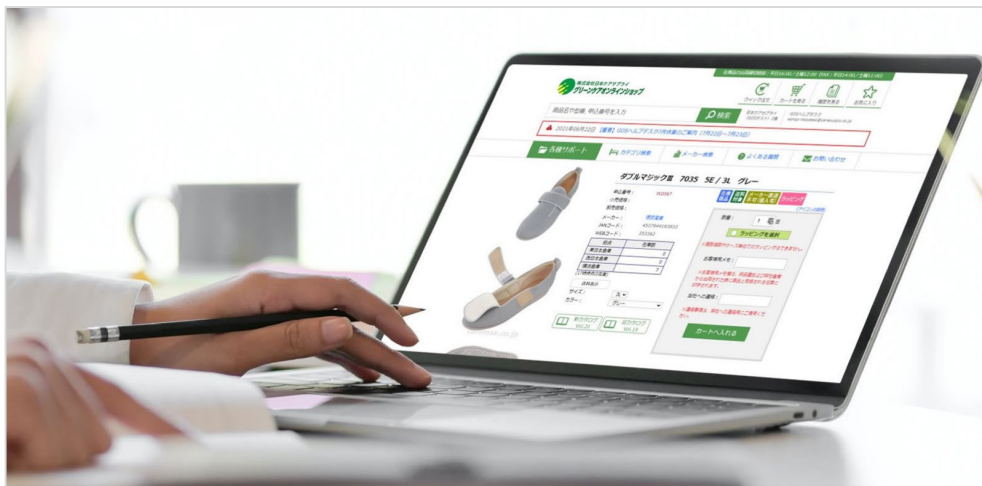
▲外部委託による物流倉庫を設置

<参考> 高齢者生活支援サービス

高齢者のご家族を支えるために厳選した福祉用具と生活関連商品を取り揃えた、事業者向けECサイト「グリーンケアオンラインショップ」

- ・20万アイテムを超える充実した品揃え
- ・在庫商品は、平日16時までのご注文で当日出荷

ヘルプデスクが丁寧にサポート



▲パソコンからの注文画面イメージ



▲問合せ対応のイメージ

おむつメーカー大手のリブドゥコーポレーション と共同でサービス提供

最適なおむつとモレない安心感を・・・  おむピタ

- メーカーの専門家によるおむつ選定やフィッティングを活用することでおむつ漏れ改善
- メーカー直送により、ご利用者宅のおむつ切れ防止や買い物の手間を軽減
- 介護事業者は、介護保険外の新たなサービスとしての取組み

相互の販売拠点網や顧客基盤を活用した 商品・サービスの拡販を推進



▲介護施設向けカタログ



<特殊浴槽一式>

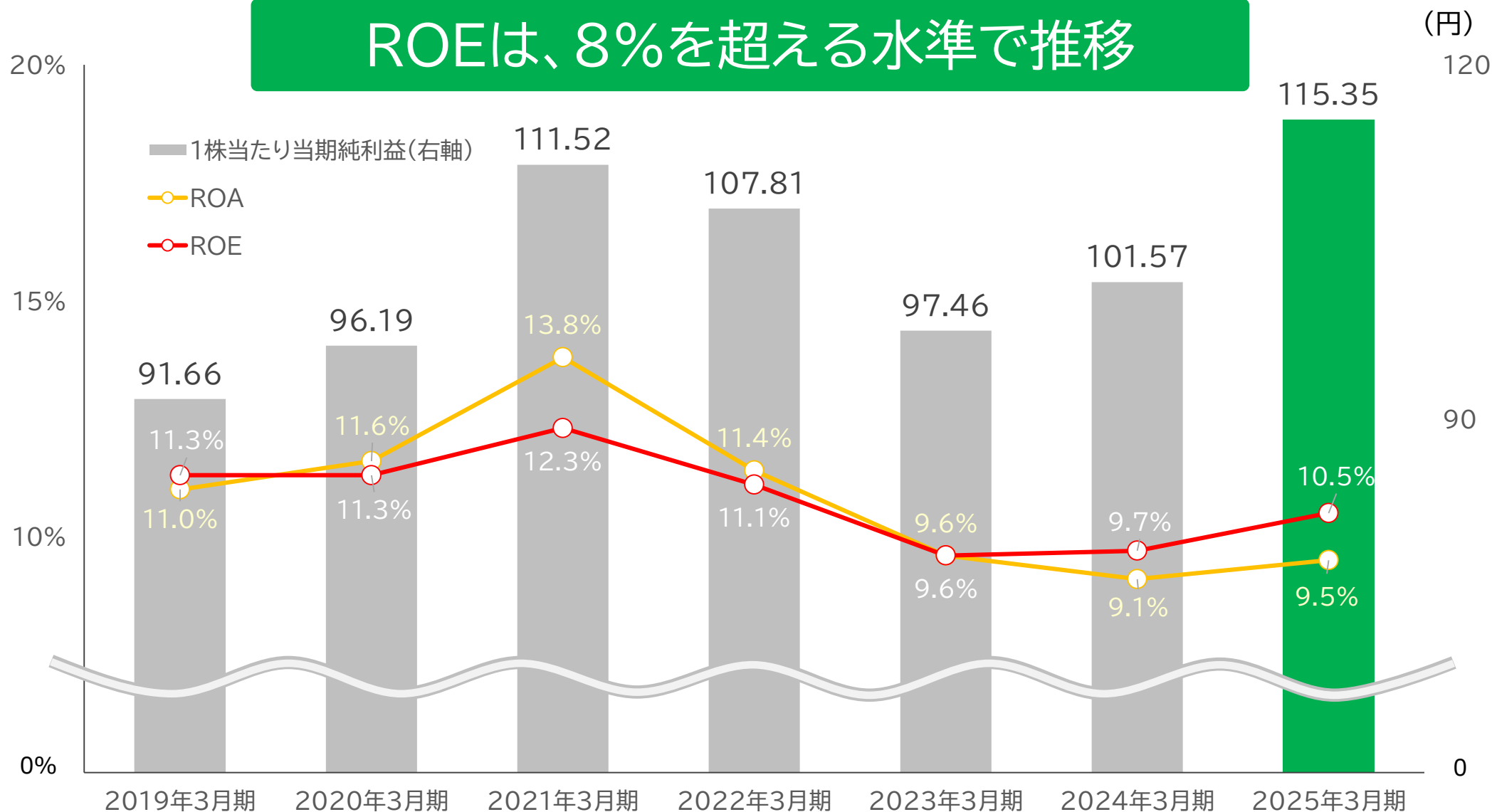


<施設向け家具>

▲施設向け商材の一例

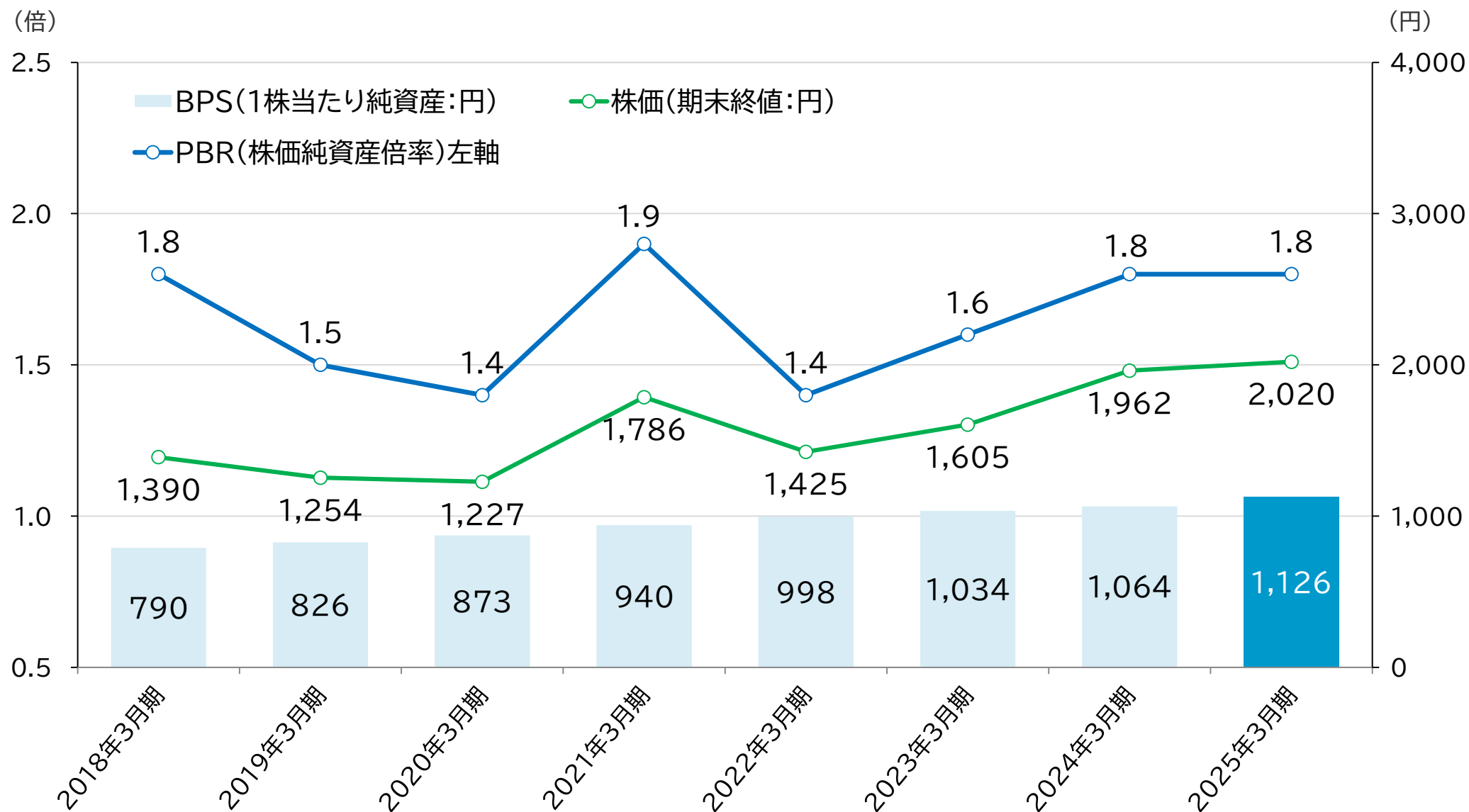
<参考> 経営指標の推移

ROEは、8%を超える水準で推移



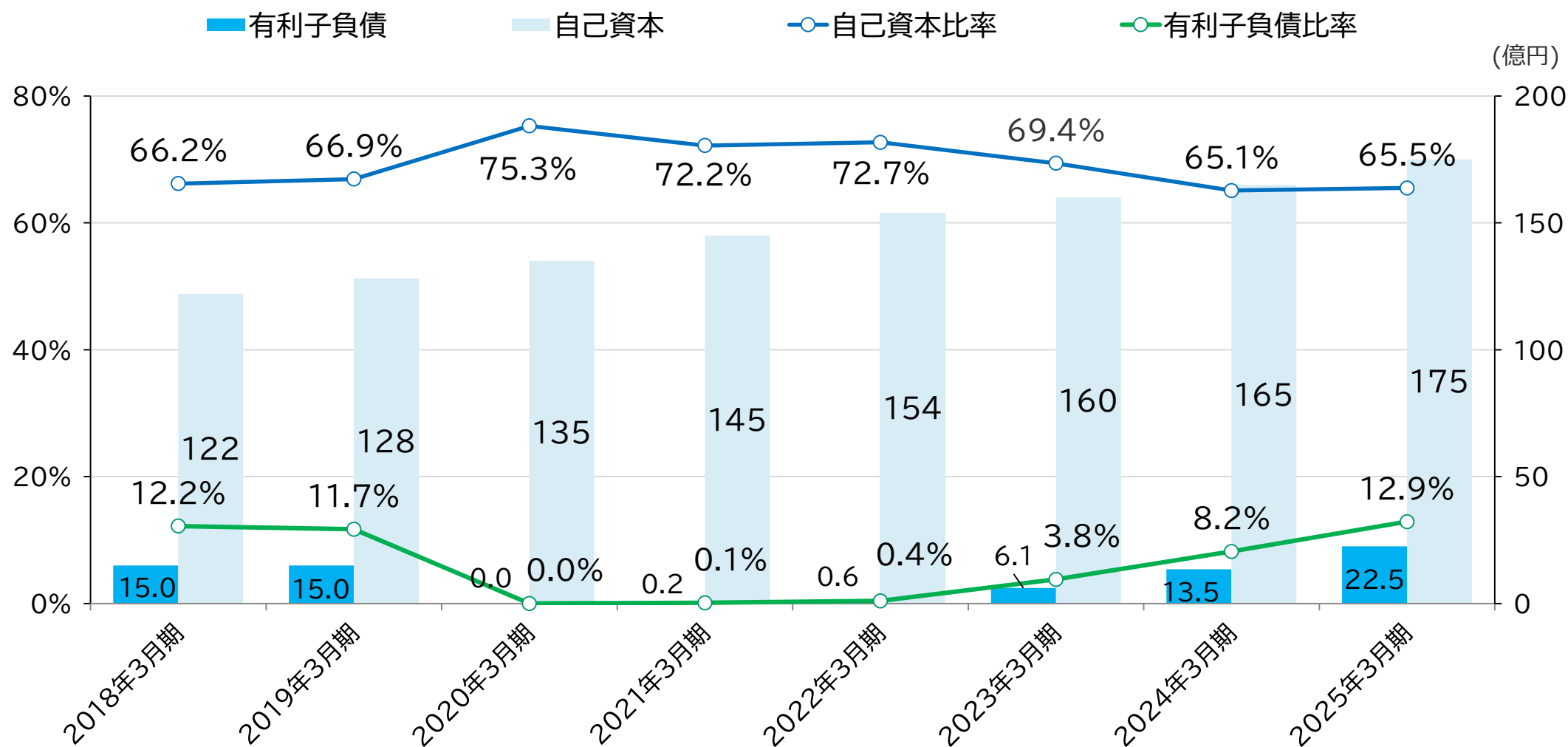
<参考> PBR・BPS・株価の推移

・BPSは、利益の積み上がりにより増加傾向を維持



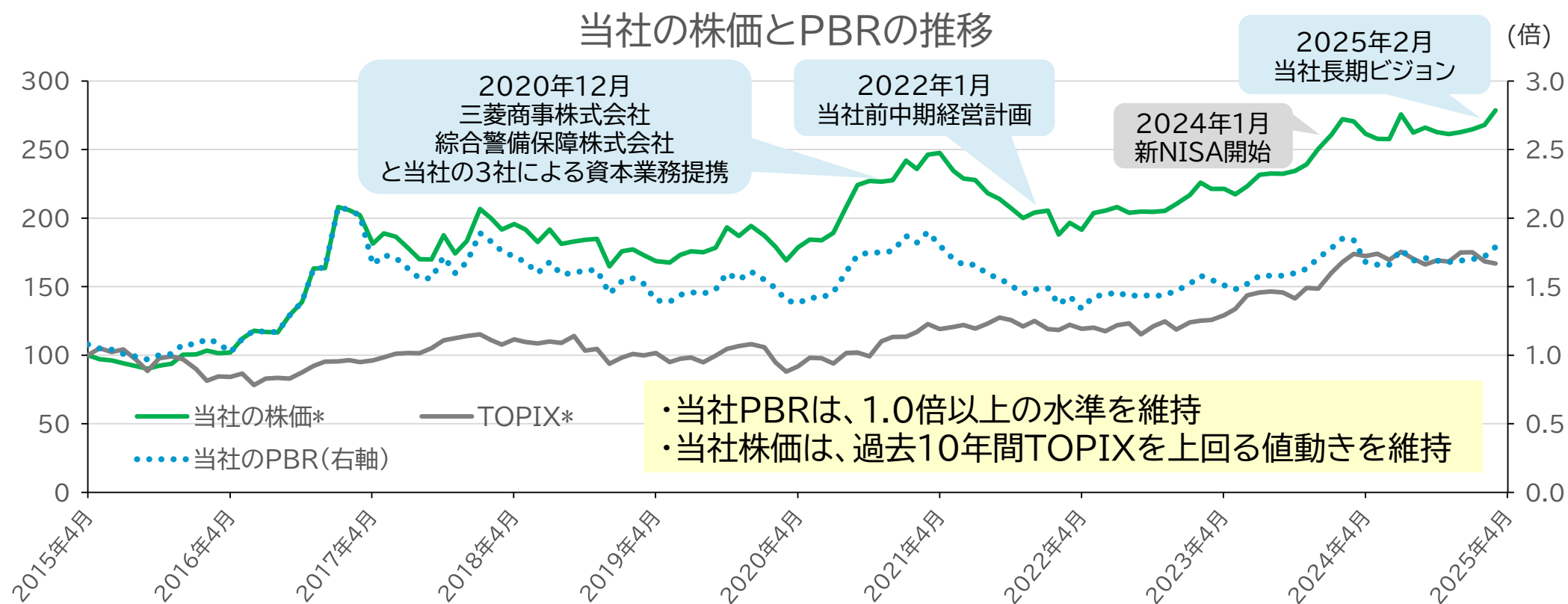
<参考> 自己資本比率・有利子負債比率の推移

- ・自己資本比率は、60%以上を維持
- ・有利子負債は、短期借入金の活用により増加



<参考> 株価に関連した指標の推移

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
当社の 期末株価(円)	736	1,466	1,390	1,254	1,227	1,786	1,425	1,605	1,962	2,020
期末TOPIX	1,347.20	1,512.60	1,716.30	1,591.64	1,403.04	1,954.00	1,946.40	2,003.50	2,768.62	2,658.73
当社の 期末PBR(倍)	1.1	2.0	1.8	1.5	1.4	1.9	1.4	1.6	1.8	1.8



*当社の株価とTOPIXは、2015年4月を「100」として指数化

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものでありリスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ
経営企画室 IR担当
TEL 03-5733-0381



健康長寿社会への貢献